さんきゅうれん
弓道
No. 2
ミニ国体特集
S62.8.30

やった!!四種別フルエントリー

ミニ国体で県勢大奮斗

全種別「海邦国体」出場決まる!!

八月三十日水戸市で開催されたミニ国体（第42回国体関東予選会）で山梨県勢は大奮斗し、少年男子、少年女子、成年女子とも みごとに入賞して関東代表の座を獲得した。既に成年男子は各県ストレート参加ということで出場が決定しているので、これで四種別全部のフルエントリーという快挙が達成された。このようなことは、全国を通じてめったにあることではなく、昨年のかいじ国体の際にも、地区予選を勝ちぬいてのフルエントリーは、わずかに熊本県のみであり、これは抜群の力をもっているという証明書のようなものということができる。この力は、全会員の力強い支援を後楯にした監督・コーチ、選手諸氏の、たゆまぬ努力の成果であることは言うまでもないが、その陰に、四年間にわたって日夜を分かたず熱心に指導して下さった今村先生のお力があったことを忘れてはなるまい。

祝 海邦国体出場
成年男子 少年男子
成年女子 少年女子
健斗を祈る

成績採点表

種別	都県	近的			遠的			総合		関東代表
		的中	順位	得点	的中	順位	得点	得点計	順位	
少年男子	栃木	11	8	1	16	2	7	8	5	
	東京	15	7	2	11	7	2	4	8	
	千葉	16	5	4	14	5	4	8	6	
	神奈川	15	6	3	16	3	6	9	3	
	埼玉	19	1	8	23	1	8	16	1	◎
	茨城	17	3	6	13	6	3	9	3	
	群馬	16	4	5	11	8	1	6	7	
	山梨	18	2	7	15	4	5	12	2	◉
少年女子	栃木	14	4	5	20	4	5	10	4	
	東京	12	8	1	19	6	3	4	8	
	千葉	14	3	6	12	8	1	7	6	
	神奈川	13	5	4	19	5	4	8	5	
	埼玉	12	7	2	23	1	8	10	3	◎
	茨城	13	6	3	16	7	2	5	7	
	群馬	14	2	7	20	3	6	13	2	◎
	山梨	17	1	8	21	2	7	15	1	◉
成年女子	栃木	6	8	1	13	7	2	3	8	
	東京	9	6	3	12	8	1	4	7	
	千葉	11	5	4	17	4	5	9	5	
	神奈川	9	7	2	18	3	6	8	6	
	埼玉	13	3	6	21	1	8	14	1	◎
	茨城	14	2	7	14	6	3	10	4	
	群馬	16	1	8	16	5	4	12	2	◎
	山梨	12	4	5	18	2	7	12	3	◉

＝戦績をふり返る＝

少年男子

トップバッターは少年男子近的。一回戦は猶っ固くなったか8中にとどまる。8中以上が4県あったのでやや苦戦かと思われたが、二回戦がんばって10中を挙げて一気に浮上し、近的二位を確保。遠的一回戦9中。幸先よしとみていたが、二回戦6中と後退。他県に追い上げられたが辛うじて逃げ切って総合二位。よかった。

少年女子

近的は最初から10中して他県をよせつけず悠々一位。遠的は他県も的中率が良く最後の立ちの山梨の前に、既に19中以上が五県あったので、若しミミで失敗すると順位が大きく後退するオソレもあって少し心配になったが、そんな心配をよそに彼女らは10中・11中計21中と的中させて二位に入り、総合優勝。ダントツの力を見せた。しかし埼玉の23中を新しい目標にする要あり。

成年女子

少男・少女の代表権獲得の余勢をかって一気に勝負に出た成年女子だったが、その気負いが裏目に出たか近的は四位と不調。しかし遠的はかいじ国体遠的二位の経験者ばかりそろえたチームだからと、遠的に期待をつなぐ。しかし一回戦は8中と冴えない。もう駄目かと半ばあきらめかけた時点でようやく奮起し、二回戦は10中とがんばって、18中同士の競射ではみごと神奈川を破って二位にくいこんだ。執念の大逆転で総合三位となり代表権を得た。アッパレ。

他県の好ゲーム

遠的競技の中で12射皆中が三名あった。敵ながらみごと。
少年男子（埼玉）
少年女子（東京、埼玉）
この技術と精神力には学ぶべき点が多々あると感じた。

事務局から

明治神宮奉納全国弓道大会 ◆◆◆

期日 十一月三日（九時開会式）
会場 明治神宮至誠館弓道場
種目 奉射二射．奉射皆中者により射詰競射．
申込み 九月二十三日（厳守）山弓連事務局まで．
申込用紙は支部長の手許にあります。
参加料 1,000円，山梨から日本一の那須与一出でよ．

監督コメント

何とかいけそうな気はしていたが、とにかく席は二つしかないのにっ指定席と言われる埼玉が一つ取ることは、ほぼ確実なので残り一つを七都県での奪い合い。確率七分の一の難関を突破したのだから、上出来。選手たちは、ほんとによくやった。（少男・名取良太）

ふだんの練習時の力がほとんどそのまま出せた。実力がついたというべきか。沖縄でもう一回これが出せたら言うことなし。（少女・酒井茂幸）

予感がピタリ的中した。二種別は順調に勝ち、どれか一つが苦しみながらも競り合って勝ち三種別揃って予選突破という予感がしていた。それにしても成女のねばりは凄かった。欲をいえば、もう少し楽に勝って心臓の負担を軽くしてもらいたい。（成女・古屋達男）

きびしい練習をしてきた甲斐があった。よかった。選手諸君おめでとう。しかし、静岡に恨まれるかなァ。（専任コーチ・今村先生）